



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社サイバーセキュリティクラウド 上場取引所 東
 コード番号 4493 URL <https://www.cscloud.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CTO (氏名) 渡辺 洋司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 倉田 雅史 TEL 03 (6416) 9996
 定時株主総会開催予定日 2021年3月31日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期の連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	1,194	-	188	-	172	-	134	-
2019年12月期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2020年12月期 134百万円（-%） 2019年12月期 -百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	14.60	14.27	20.2	11.5	15.8
2019年12月期	-	-	-	-	-

（参考）持分法投資損益 2020年12月期 -百万円 2019年12月期 -百万円

（注）2020年12月期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期の数値及び2020年12月期の対前期増減率は記載しておりません。なお、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、それぞれ期末自己資本及び期末総資産に基づき計算しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	1,499	664	44.3	71.35
2019年12月期	-	-	-	-

（参考）自己資本 2020年12月期 664百万円 2019年12月期 -百万円

（注）2020年12月期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期の数値は記載しておりません。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	133	△242	650	899
2019年12月期	-	-	-	-

（注）2020年12月期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,790	50.0	250	32.8	247	43.5	179	33.7	19.28

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ソフテック、除外 1社 （社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	9,313,200株	2019年12月期	8,940,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期	-株	2019年12月期	-株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	9,203,252株	2019年12月期	8,940,000株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	1,194	46.2	203	41.2	187	32.0	149	△3.0
2019年12月期	816	67.0	143	-	141	-	153	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	16.21	15.84
2019年12月期	17.20	-

- (注) 1. 2019年9月9日付で普通株式1株につき100株の割合で、2020年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 2019年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。また、2020年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2020年3月26日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	1,384	679	49.1	72.95
2019年12月期	498	210	42.1	23.50

(参考) 自己資本 2020年12月期 679百万円 2019年12月期 210百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国際情勢の緊張不安や不確実性による為替、株価の不安定な動き及び新型コロナウイルスの感染拡大による影響など、依然として不透明な状況が続いております。

サイバーセキュリティを取り巻く環境においては、テレワークの浸透、AI技術の発達、IoT機器の普及、5Gサービスの開始といった情報革命による社会・経済のITへの依存度が高まるとともに、サイバーセキュリティリスクも増加しております。また2020年4月7日には、新型コロナウイルスの影響により国内では緊急事態宣言が発令され、それに伴いサイバー攻撃数も増加しているだけでなく、2020年6月5日の国会において可決、成立し、2020年6月12日に「個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律」が公布され、サイバーセキュリティ対策は企業にとって必須かつ急務となっております。

このような状況において、当社では「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」という経営理念を掲げ、サイバーセキュリティに関する社会課題を解決し、社会へ付加価値を提供すべく事業に取り組んでおります。

当社の当連結会計年度においては、クラウド型WAF「攻撃遮断くん」の機能強化と導入企業数の拡大、「WafCharm」の課金ユーザー数拡大に向けた取り組みに加え、「WafCharm」をAWSに続くクラウドプラットフォームのMicrosoft Azureユーザー向けにリリースいたしました。さらに、2020年12月には脆弱性管理事業「SIDfm」を開発する株式会社ソフテックを子会社化し、2021年12月期に向けサービスラインナップを強化しております。以上の結果、当連結会計年度の当社の業績は、売上高1,194,005千円、営業利益188,421千円、経常利益172,569千円、親会社株主に帰属する当期純利益134,335千円となりました。

なお、当連結会計年度は連結財務諸表作成初年度であるため、前年度との比較は行っていません。

また、当社グループはサイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っていません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,098,414千円となりました。主な内訳は、現金及び預金899,050千円、売掛金124,920千円であります。

固定資産は400,770千円となりました。主な内訳は、のれん253,251千円、顧客関連資産74,580千円であります。

この結果、総資産は1,499,184千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は645,472千円となりました。主な内訳は、短期借入金240,000千円、前受金129,727千円であります。固定負債は189,173千円となりました。主な内訳は、長期借入金169,060千円です。この結果、負債合計は834,646千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は664,538千円となりました。主な内訳は、資本金334,295千円、資本準備金325,295千円です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は899,050千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は133,920千円となりました。その主な内訳は、税金等調整前当期純利益172,569千円の計上、売上債権の増加額△42,266千円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は242,522千円となりました。その主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出241,249千円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は650,737千円となりました。その主な内訳は、株式の発行による収入284,287千円、短期借入金による収入220,000千円、長期借入れによる収入200,000千円です。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、インターネット技術の進化によりWebシステムへのサイバー攻撃の手口が加速度的に高度化しており、AIを悪用したより複雑な攻撃や、未知のサイバー攻撃が今後増加していくことが予想されております。これらの脅威に対して、当社経営理念である「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」を実現するため、ビッグデータとAIの技術を組み合わせた新たな知見により、最新の攻撃手法を研究し、プロダクトへ反映させていきます。また、改正個人情報保護法の施行、テレワークの浸透、セキュリティインシデントの増加などによる更なるセキュリティニーズ拡大に備え、2021年12月期においては、前連結会計年度に引き続き「攻撃遮断くん」及び「WafCharm」に経営資源を投下してまいります。事業拡大を図るためのエンジニア・営業人員の採用強化を計画しており、プロダクトの機能開発、継続的な研究開発、営業及び広告宣伝活動の強化により、更なる成長を見込んでおります。

以上より、2021年12月期の業績予想といたしましては、売上高1,790百万円(前期比50.0%増)、営業利益250百万円(前期比32.8%増)、経常利益247百万円(前期比43.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益179百万円(前期比33.7%増)を見込んでおります。

なお、2021年1月に発令された新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の影響について、2021年12月期の第1四半期に一定の影響を織り込んで各種計画を立案しております。上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により、大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後のIFRS(国際財務報告基準)の採用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	899,050
売掛金	124,920
その他	74,443
流動資産合計	1,098,414
固定資産	
有形固定資産	
建物	15,941
減価償却累計額	△1,586
建物(純額)	14,355
工具、器具及び備品	4,553
減価償却累計額	△3,166
工具、器具及び備品(純額)	1,387
有形固定資産合計	15,742
無形固定資産	
のれん	253,251
顧客関連資産	74,580
その他	1,375
無形固定資産合計	329,207
投資その他の資産	
関係会社株式	5,606
繰延税金資産	31,977
その他	18,236
投資その他の資産合計	55,820
固定資産合計	400,770
資産合計	1,499,184

(単位:千円)

当連結会計年度 (2020年12月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	25,149
短期借入金	240,000
1年内返済予定の長期借入金	35,216
賞与引当金	2,041
未払金	71,266
未払法人税等	27,521
前受金	129,727
その他	114,549
流動負債合計	645,472
固定負債	
長期借入金	169,060
繰延税金負債	20,113
固定負債合計	189,173
負債合計	834,646
純資産の部	
株主資本	
資本金	334,295
資本剰余金	325,295
利益剰余金	4,948
株主資本合計	664,538
純資産合計	664,538
負債純資産合計	1,499,184

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,194,005
売上原価	377,282
売上総利益	816,722
販売費及び一般管理費	628,301
営業利益	188,421
営業外収益	
受取利息	4
助成金収入	1,140
雑収入	368
営業外収益合計	1,512
営業外費用	
支払利息	572
支払手数料	2,928
為替差損	2,451
株式交付費	5,512
上場関連費用	5,900
営業外費用合計	17,364
経常利益	172,569
税金等調整前当期純利益	172,569
法人税、住民税及び事業税	32,914
法人税等調整額	5,319
法人税等合計	38,234
当期純利益	134,335
親会社株主に帰属する当期純利益	134,335

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	134,335
包括利益	134,335
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	134,335
非支配株主に係る包括利益	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	174,250	165,250	△129,386	210,113	210,113
当期変動額					
新株の発行	144,900	144,900		289,800	289,800
新株予約権の行使	15,145	15,145		30,290	30,290
親会社株主に帰属する 当期純利益			134,335	134,335	134,335
当期変動額合計	160,045	160,045	134,335	454,425	454,425
当期末残高	334,295	325,295	4,948	664,538	664,538

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	172,569
減価償却費	4,639
受取利息	△4
助成金収入	△1,140
支払利息	572
支払手数料	2,928
上場関連費用	5,900
株式交付費	5,512
売上債権の増減額(△は増加)	△42,266
仕入債務の増減額(△は減少)	5,380
未払金の増減額(△は減少)	25,128
未払費用の増減額(△は減少)	20,194
未払消費税等の増減額(△は減少)	961
その他	△28,851
小計	171,525
利息の受取額	4
利息の支払額	△429
コミットメントフィーの支払額	△886
助成金の受取額	1,140
法人税等の支払額	△37,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,920
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△322
無形固定資産の取得による支出	△950
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△241,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	220,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△75,740
株式の発行による収入	284,287
新株予約権の行使による株式の発行による収入	30,290
上場関連費用の支出	△5,900
その他	△2,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	650,737
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	542,136
現金及び現金同等物の期首残高	356,914
現金及び現金同等物の期末残高	899,050

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の概要

被取得企業の名称：株式会社ソフテック

事業の内容：サイバーセキュリティ事業

(2) 企業結合を行った主な理由

グループとして見込み顧客の共有、グループの技術基盤強化に貢献していくことにも繋がると確認している点、ひいては、両社の企業価値の向上につながるとの考えに至った点であります。

(3) 企業結合日

2020年12月18日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

株式取得前に所有していた議決権比率： -%

株式取得後の議決権比率： 100%

(7) 取得企業を決定するに至った経緯

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を2020年12月31日としていることから貸借対照表のみを連結しているため連結損益計算書については被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	420,000千円
取得原価		420,000千円

4. 主要な取得関連費用及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 14,823千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

253,251千円

(2) 発生原因

当社が資本業務提携をすることから生じる超過収益力及び株式会社ソフテックにおける今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却の方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	218,158	千円
固定資産	83,199	千円
資産合計	301,358	千円
流動負債	109,068	千円
固定負債	-	千円
負債合計	109,068	千円

7. のれん以外の無形資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに償却期間

主要な種別の内訳	金額	償却期間
顧客関連資産	74,580千円	9年

8. 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

売上高	240,124千円
営業損失	28,143千円
経常損失	5,659千円
税金等調整前当期純損失	85,659千円
親会社株主に帰属する当期純損失	59,430千円
1株当たり当期純損失	6円46銭

特別損失のうち重要なものは、役員退職金80,000千円であります。

企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報と、取得企業の連結損益計算書における売上高及び損益情報との差額を、影響の概算額としております。また、企業結合時に認識したのれんを含む無形固定資産が当連結会計年度開始の日に発生したもとしてその償却額を算定しております。

なお、当該注記は監査証明を受けておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、サイバーセキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	71.35円
1株当たり当期純利益金額	14.60円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	14.27円

- (注) 1. 当社は、2020年6月1日開催の取締役会決議により、2020年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。
2. 当社は2020年3月26日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	664,538
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	664,538
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,313,200

4. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	134,335
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	134,335
普通株式の期中平均株式数(株)	9,203,252
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	213,607
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。